

春名哲夫

県政報告

第3号

発行日 平成24年5月17日

発行者 春名哲夫



平成24年度、兵庫県予算:3兆1,681億円

第312回定例会は2月17日から3月22日まで開かれ23年度補正や条例制定、24年度予算を審査した。特に私は22名で構成する予算特別委員会に所属して3月6日から連続4日間、下記内容について質疑いたしました。

(質疑・回答は、全容DVDで用意しております)

健康福祉部 (3月6日)

- 一 医師確保の現状
- 二 医師の適正配置
- 三 ドクターヘリの整備方針
- 四 ドクターカーの整備方針
- 五 受動喫煙防止対策の推進

産業労働部 (3月7日)

- 一 ひょうご海外事業展開支援プロジェクトについて
 - * 香港を拠点とした各国への展開
 - * 海外事務所の経済機能強化
- 二 ものづくり体験館体験事業について
 - * ひょうごの匠キャラバン隊派遣事業との関係
 - * 県内中学校等との協力体制
- 三 科学技術基盤の活用とものづくり企業の技術力強化について
 - * 先端科学基盤の活用状況について

農政環境部 (3月8日)

- 一 シカ捕獲総合対策について
- 二 木質エネルギーの推進について
- 三 都市部における直売所の設置等の支援について

県土整備部 (3月9日)

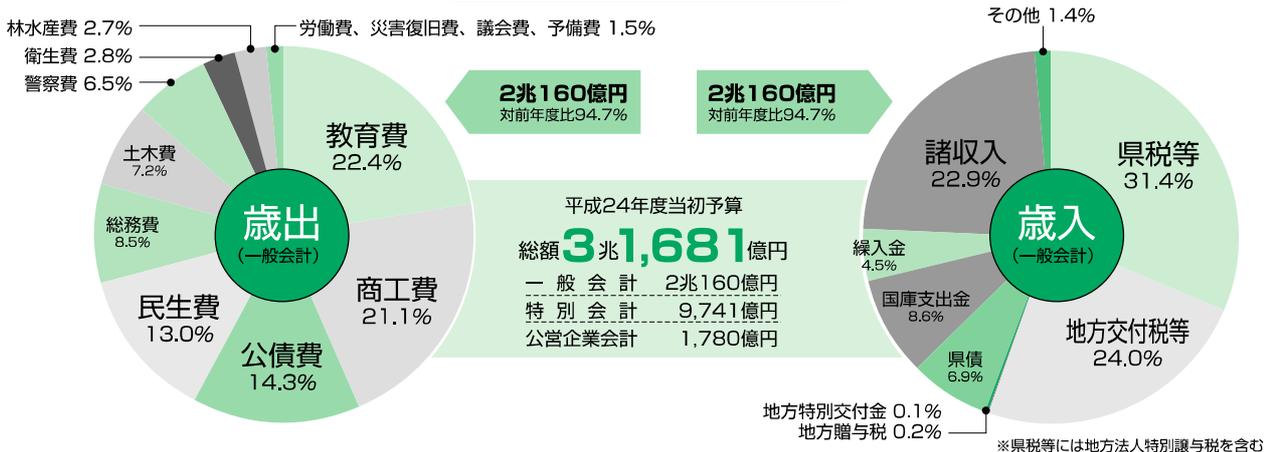
- 一 総合治水条例について
 - * 減災対策の取り組みについて
 - * 調整池について
- 二 県民への理解促進について
 - * 緊急輸送路の確保のための建築物の耐震化推進について

企業庁 (3月9日)

- 一 宅地分譲の現状について
- 二 播磨科学公園都市の宅地分譲について
- 三 企業庁による宅地分譲



平成24年度兵庫県当初予算



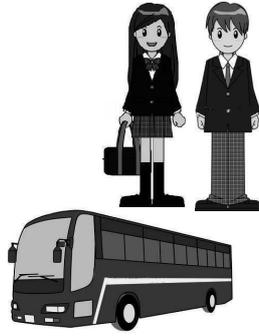
中学校一年生の皆さんへ

高校通学区域の決定

平成二十一年から地域性を踏まえ、さまざまな観点から学びたい高校の選択幅など検討を重ね、この度、県教育委員会は県下の高校十六学区から五学区に再編した。

宍粟市においては十六学区の現行八高校が五学区になると二十の高校に志望範囲が広がる訳であります。

各高校の魅力や特色づくりに期待するものの通学距離や通学手段等の課題もありますが注視してゆきます。



兵庫県高等学校の新通学区域

現行通学区域	新通学区域
神戸第一・芦屋 (4校)	第1学区 (19校)
神戸第二 (5校)	
神戸第三 (7校)	
淡路 (3校)	
尼崎 (6校)	第2学区 (29校)
西宮 (6校)	
伊丹 (7校)	
宝塚 (4校)	
丹有 (6校)	第3学区 (20校)
明石 (5校)	
加印 (7校)	
北播 (8校)	第4学区 (20校)
姫路・福崎 (3校)	
西播 (8校)	第5学区 (7校)
北但 (4校)	
南但 (3校)	
16学区	5学区 (95校)

※かっこ内は全日制普通科(学年制)の高等学校校数。
※市立高等学校(市教育委員会規則で決定)を含む。
(平成27年4月入学から)

条例制定 受動喫煙防止条例

平成二十五年四月一日施行

がん、心臓病等の発生にタバコの煙が深く関わっており、人の健康に悪影響を及ぼすことから、この度神戸県に続き全国で二番目として成立いたしました。

県内の建物や場所又は面積によって受動喫煙防止区域を定めて禁煙分煙又は喫煙可否を示す事になります。学校や病院、官公庁など

平成二十五年から民間施設については平成二十六年から適用となり、民間の飲食店については建物改善のための補助や助成制度があります。



議会基本条例成立

議会の選挙後の六月二十八日、議会改革等調査検討委員会が設置され延べ十八回の超党派によるメンバーで鋭意検討を行い、議員提案として本年三月二十二日成立させました。

内容は、県議会の最高規範と明記し議会の役割や運営、議員の責務、県民との関係、知事との関係など列記し議会機能の充実・強化及び議会の活性化への取り組みをしようとするものであります。四月一日施行により六月定例会では今までの一括質問方式に加え一問一答なども選択されます。

基本条例を作るべしである、の公約が一つ実現いたしました。

兵庫県議会基本条例の構成

前文
第1章 総則 目的、基本理念
第2章 議会の役割、運営等 議会の役割、議長の役割、議会の運営原則、委員会、調査機関等の設置、定数及び選挙区
第3章 議員の責務、役割等 議員の責務、議員の役割、議員の能力向上等、政治倫理、議員報酬、会派、政務調査費
第4章 県民と議会との関係 県民参加の推進、広報の充実、会議等の公開等
第5章 知事等と議会との関係 知事との関係の基本原則、監視及び評価、政策の立案及び提言、議会の資料要求等
第6章 他の地方公共団体の議会との関係
第7章 議会改革の推進
第8章 議会事務局等 議会事務局、議会図書室
第9章 雑則 他の条例との関係、条例の見直し

関西広域連合 (規約改正議決)

新たに大阪市・堺市加入

二府、五県(兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・鳥取県・徳島県・和歌山県)で進めてきた関西広域連合に、指定都市では初めての大阪市と堺市が加わり、九つの集合自治体となりました。

八月以降には京都市と神戸市が加入する予定。

広域連合での取り組み予定は広域防災、広域観光文化振興、広域産業振興、広域医療、広域環境保全、資格試験免許等、広域職員研修、国出先機関の事務・権限の移譲であります。

国出先機関については、経済産業局と地方整備局、及び地方環境事務所それぞれの事務権限、財源職員を、丸ごとの移管を求めるところであります。

府県政令市名	人口(万人)	配分議席
兵庫県	5.58	4
神戸市	1.54	1
大阪府	8.87	5
大阪市	2.78	2
堺市	0.84	1
京都市	2.64	3
京都市	1.47	1
和歌山県	1.03	3
滋賀県	1.38	3
鳥取県	0.60	3
徳島県	0.80	3

※兵庫県・大阪府・京都市の人口は各政令市含む
◆は政令市

全国初の 総合治水条例

本年四月一日施行

近年の集中豪雨に河川対策や下水道対策だけで洪水を防ぐ事は、困難な状況であることから、流域対策と減災対策を組み合わせた総合治水条例が、全国に先駆けて制定いたしました。

兵庫県下を十一のエリアに地域分割して、それぞれに推進協議会を設置し、広く県民の意見を聞き防災・減災に備えようとするものです。

我々宍粟市は揖保川流域圏として、宍粟市・たつの市・太子町・姫路市で地域構成し、行政機関や地域住民で地域総合治水推進計画を策定いたします。

予算特別委員会でもっと具体的な提案をいたしております。

総合治水に関する施策例

ながす 河川の整備	下水道の整備
ためる 調整池の設置・保全	(仮設等) 雨水貯留浸透機能
そなえる 情報把握・訓練等	(住宅等) 別敷地の嵩上げ耐水機能
	森林の整備・保全
	フェニックス共済 兵庫県住宅再建共済制度 早期の生活再建

私が所属する 議員連盟は

議員だけでなく構成し専門的に調査研究しそれぞれの趣旨・目的を達成する為私は左記の団体に所属して勉強しております。

- MOA議員連盟
- 8020推進議員連盟
- 兵庫ようぼく議員連盟
- 防衛議員連盟
- 看護を支援する議員の会
- 保健医療推進議員連盟
- 日本会議議員連盟
- 少林寺拳法議員連盟
- 女性問題考える議員の会
- 商工議員連盟
- 林業振興議員連盟
- 社会福祉議員連盟
- J.C議員連盟
- 日中友好議員連盟
- 日米友好議員連盟

MOA 議員連盟では

去る二月十六日、県庁内に於いて、講師に神戸大学名誉教授であり、MOA常務理事の新家 龍氏、MOA事業団、奥田浩之関西支所長、MOA兵庫県担当、宮島一人氏をお招きして「今なぜ、自然農法による自然食か？」「農水省補助事業、有機農業基礎データ作成事業」

等について研修を受けました。自然農法・有機農法・地産地消・情報栄養学等の大切さを改めて実感いたしました。

本連盟は、岡田茂吉氏の哲学等を根本とするMOA活動を政治の場を通じて実践し、真文明創造の為の活動を提唱することを目的としております。

8020推進 議員連盟

昨年は兵庫県歯科医師連盟の先生方と私達議員との懇談会がありました。

8020運動とは「80歳で20本の自分の歯を保つ」事を推進するものであります。

その為の調査研究、情報の収集、関係団体との連携事業を行うなど歯科医師の先生方にご指導頂き県民・市民問わず誰もが健康増進に繋がるよう精進いたします。とりあえず

三度の食事の後の歯磨きを



兵庫ようぼく 議員の勉強会

昨年十一月四日、六甲荘に於いて、紺谷清春天理教兵庫教区長にお越し頂き勉強会をいたしました。天理教では自然災害が起きた時に備えて教区毎に災害救援、ひのきしん隊を結成しており隊員は六千名を数える。

東日本災害時には、災害対策本部を設置して、救援隊を派遣したお話や、多額の募金活動や被災者受け入れ委員会などのお話を伺った。

陽気暮らし、人を助けて我が身を助ける、喜んでいただく精神を学びました。

懇談会では、兵庫県金澤副知事や神戸市中村副市長等同席の上、意義ある一日でありました。



天理教教会本部 神殿前にて

予算特別委員会で再度質問しました ドクターヘリ計画

県当局：…運航方法考える

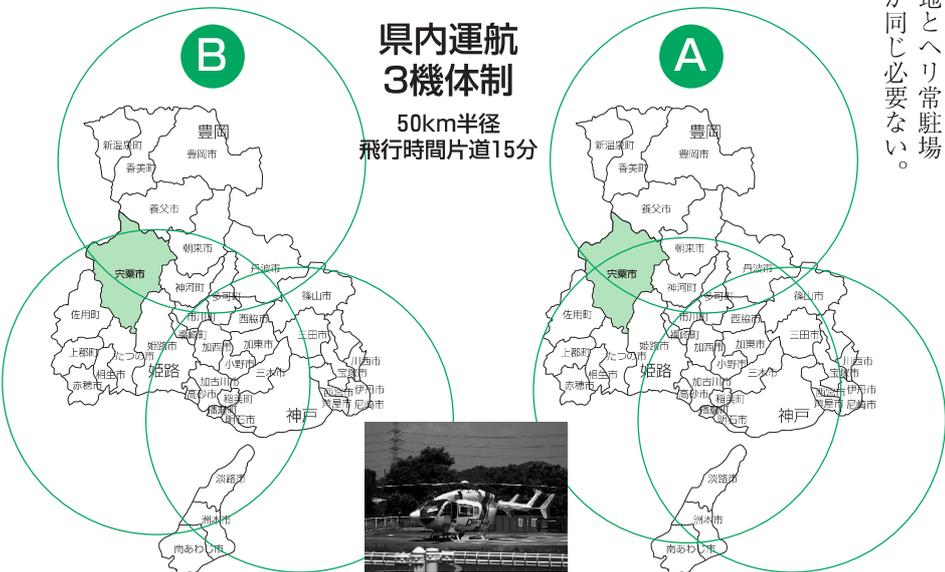
A図の加古川にヘリ基地をおいた場合50キロ15分以内に佐用町・千種町・波賀町の一部が圏外となり、豊岡からは氷ノ山の関係で宍粟市は圏外。Bの場合OK。基地とヘリ常駐場所が同じ必要ない。

運航方法を考えるべしと提案する、宍粟総合病院は新日鉄広畑病院の医師派遣を受けており、新日鉄広畑病院救急救命センターの充実が宍粟総合病院の医師確保に繋がると思っております。同時に県立姫路循環器病センターを含めたヘリ運航を考えるべきであると思えます。

ドクターヘリの運行範囲の定義

30分圏内 (100km圏内)	重篤患者が一般病院に収容され、救命救急センターへ転院搬送を行うのに有効な時間や、ヘリコプターの航続能力(最大500km)からみて、複数人搭乗すると、約1時間、航続距離200kmが有効な範囲となる。そのため、片道30分圏内が有効かつ安全な運行範囲といわれている。
15分圏内 (50km圏内)	消防機関が患者を収容、状態を確認しドクターヘリを要請するまでの時間が概ね15分かかる。30分圏内に医師の治療下におかれることにより、救命効果が高いこと(大量出血後30分で50%死亡)から、ドクターヘリの要請時間を除く15分圏内が救命救急に効果的な範囲といわれている。

県内運航 3機体制 50km半径 飛行時間片道15分

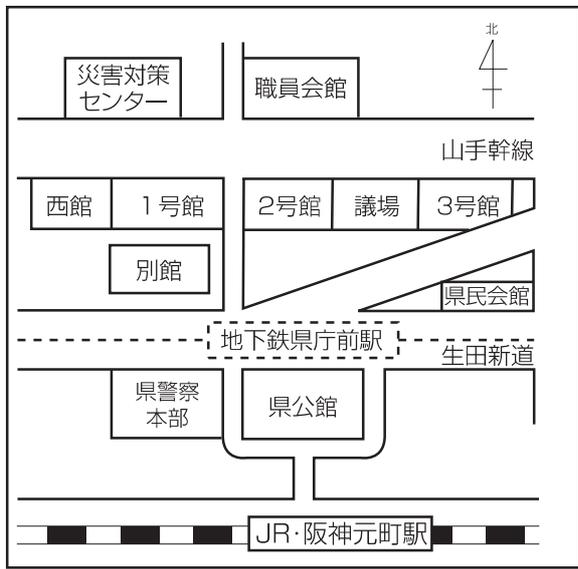


神戸に宍粟市の大使館を

最近、農産物や加工品の販売や多彩など魅力を発信する拠点として神戸市元町商店街に「北播磨おいしんぼ館」がオープンしました。又、多可町では町内の観光スポットをPRする総合案内所、「まちの駅・たか」がオープンするなど、それぞれ地域で頑張っている若者たちの為や将来の地域産業の活性化に役立ちたい、であります。

四月三日、井戸知事との会談の機会がありました。

知事からは、「国道29号線が寂しくなっている、過日は鳥取から帰りに伊和神社に御参りをした。若桜から姫路間を視野に入れてイベントを打つなど国道29号の活性化をした



県庁2号館と3号館の間に議場があり、知事室は2号館の6階私室は、3号館の4階に席があります。

い」と、同時に「国道29号をニク街道と呼んでは」（笑い）、同じならシカニク街道に（春名）などの会話の中で私は宍粟市に鹿肉加工所要望と神戸に宍粟市の大使館構想の話を行いました。

本年度西播磨県民局内に国道29号周辺地域の活性化事業（福ロードフエア―）も予算化いただいております。宍粟市の将来を考えてどうしても実現したく思っております。準備協議会を立ち上げますので、皆様のご協力、ご支援そして協議会への参加を、お願いいたします。

みんなで宍粟市の将来像を

2月1日	総務常任委員会 管内調査(但丹)
2日	総務常任委員会 管内調査(但丹)
3日	総務常任委員会 管内調査(但丹)
5日	門前自治会臨時総会
6日	政務調査(事務所)
7日	ライオンズ献血
8日	北浜県議あわせら太陽の家視察説明
9日	県政を支える各種団体との政経セミナー
10日	議員団総会
12日	地域安全まちづくりセミナー
13日	兵庫県環境整備事業研修
14日	宍粟市駅伝大会
14日	兵庫管理署・宍粟警察署訪問
16日	総務常任委員会
17日	本会議初日 議員団総会・文教部会

春名哲夫の活動日誌



(愛称：ココロン)

“こころ豊かな美しい兵庫”をめざして



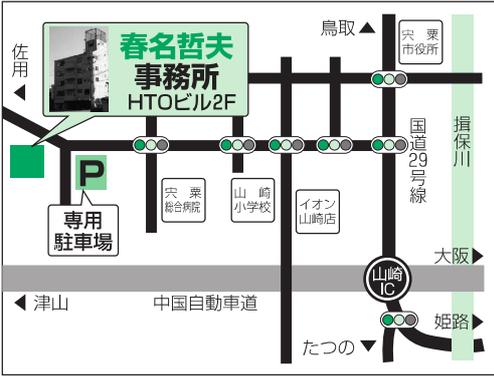
4月1日	門前自治会総会
3日	県庁・知事、副知事等岡田議長紹介
5日	絆の会メンバーのハイファイ神戸
6日	山崎西中学校入学式
7日	宍粟市商工会青年部通常総会
8日	宍粟市消防出初式
9日	山崎高校入学式
10日	山の学校入学式
11日	宍粟市役所打ち合わせ
13日	山崎青年経営者協議会総会
14日	山崎町議及会
15日	宍粟市ごみシンポジウム
16日	総務部会・県庁
17日	総務常任委員会
20日	議員団総会・井戸知事と懇談
21日	元町おいしんぼ館(多可町)鹿)視察
22日	福祉大会・障害者スポーツ大会
23日	茶華道協会総会
26日	「宮町草木・河川土砂浸透調査
29日	西播磨フロンティア祭

3月1日	本会議 補正表決
2日	予算特別委員会
3日	中部方面隊音楽まつり
4日	少年少女柔道大会
5日	予算特別委員会
6日	予算特別委員会
7日	予算特別委員会
8日	予算特別委員会
9日	予算特別委員会
10日	政務調査(事務所)
12日	予算特別委員会
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会・統括質疑
15日	各種友好団体意見交換 県庁
16日	建築士会龍野支部50周年事業
17日	千種南小学校閉校式
18日	本会議当初表決追加日程
19日	総務常任委員会
21日	本会議 最終日
22日	本会議 最終日
23日	豊中・伊丹グリーンセンター視察
25日	千種北小学校閉校式
30日	政務調査員との懇談会・神戸

20日	山の学校・山崎高校訪問
21日	青野ヶ原の件、打ち合わせ県庁
22日	本会議 追加提案
23日	本会議 代表質問
24日	本会議 一般質問
25日	龍野北高校(新宮高校閉校)
27日	本会議 一般質問
28日	本会議 一般質問
29日	総務常任委員会・予算特別委員会

事務所のご案内

〒671-2576
 兵庫県宍粟市山崎町
 鹿沢237-5 (HTOビル2F)
 TEL.0790-63-0770
 FAX.0790-63-0760
 E-mail info@harunatetsuo.jp (春名直通)
 office@harunatetsuo.jp (事務局)
 URL http://www.harunatetsuo.jp/



春名哲夫 検索